

第67回

福岡県公民館大会

令和4年8月24日(水)
九州大学伊都キャンパス椎木講堂

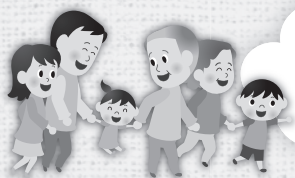


高祖神楽



福井神楽

主催 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会



目次



第67回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶	1
第67回福岡県公民館大会 開催要項	2
令和4年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役職員・優良公民館）	4
講演	8
パネル・ディスカッション	12
福岡県公民館大会年表	22

高祖神楽 （県指定無形民俗 文化財）

戦国の時代、高祖城主であった原田筑前守種親が、京都守護の大任に当たった際、習得した「京の能神楽」を郷土に伝えたものとされ、500年以上の長い歴史と伝統を誇ります。例年、春と秋に高須神社に奉納されています。

福井神楽 （市指定無形民俗 文化財）

力強い舞いや滑稽な動作で踊る舞いのほか、天下泰平を願う舞いなど他の芸能や別系統の神楽の要素を多く取り込んでおり、訪れた人々を楽しませてくれます。例年、春と秋に白山神社に奉納されています。

桜井二見ヶ浦 （日本の渚百選）

桜井二見ヶ浦は、古くから桜井神社（県の文化財）の社地として神聖な場と崇敬され、毎年5月の大潮の干潮の時に大注連縄（おおしめなわ）が張られています。伊勢の二見ヶ浦の朝日に対して夕陽の筑前二見ヶ浦として有名で、夏至の頃に夫婦岩の間に沈む夕陽の景観は格別です。

糸島市民まつり

市民の手づくりによるイベントで、糸島グルメグランプリや糸島よかもん物産展、わんぱく広場、ステージイベントなどを開催しています。糸島の魅力がギュッと詰まったおまつりで、毎回、市内外から多くの人々が来場しています。

糸島牡蠣

糸島の牡蠣は「糸島カキ」として地域団体商標登録を受け、名実ともに糸島の名物となっています。市内では10月から各漁港に約30軒のカキ小屋が立ち並び、毎年、多くの観光客で賑わっています。新鮮で栄養たっぷりの「糸島カキ」をぜひ堪能ください。

第67回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶



福岡県公民館連合会

会長 片 峯 誠

第67回福岡県公民館大会が、3年ぶりに一堂に会し、県内各地から公民館に関わっておられます皆様に御参加いただき開催されますことをたいへん嬉しく思っております。

また、この度、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった方々に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰させていただきます。表彰を受けられます皆様には、心から敬意を表しますとともに、お祝い申し上げます。

さて、昨今、人口減少や高齢化をはじめとする多様な課題の顕在化や、急速な社会経済環境の変化を受け、地域社会においては、住民全体でこれらの課題や変化に対応することが求められるとともに、地域固有の魅力や特色を改めて見つめ直し、その維持発展に取り組むことが期待されています。

また、公民館には、地域活性化・まちづくりの拠点、地域の防災拠点などの役割も強く期待されるようになっており、住民の学習と活動を支援する機能の強化が求められています。

さらに、この2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館活動においてもオンラインの活用など、様々な工夫がなされてきました。今後は、対面での活動の良さを認識した上で、オンラインをはじめとするICTをうまく組み合わせていくことが必要になります。

今年度の大会テーマは「持続可能な地域づくりに向けて 公民館に求められるもの ～『つどう』『つながる』公民館活動～」としています。九州共立大学名誉教授の古市勝也様にテーマに沿った御講演をいただいた後、パネルディスカッションでは、多世代とのつながりや地域の連携・協働に係る島根県益田市の取組、大学生による学生版オンライン公民館「はじまりシェアハウス」の取組をもとに、アフターコロナの公民館の在り方について協議を深めてまいりたいと考えております。本大会により、県内各公民館の活動が、より一層充実・発展することを願っております。

結びに、大会開催に当たり、昨年度から準備を進めていただきました糸島市及び九州大学、関係各位の御配慮に心からお礼を申し上げますとともに、公民館関係者の皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和4年8月24日

第67回 福岡県公民館大会開催要項

※公民館（市民センター・コミュニティセンター等を含む。）

- 1 趣 旨**

近年、少子高齢化、都市化・過疎化の進行とともに、society5.0時代の到来など、生活様式や価値観の多様化等、社会情勢が急激に変化しています。その結果、地域の担い手不足や人間関係の希薄化等が懸念され、いかにして持続可能で活力ある社会を構築していくかが問われています。そのような中で、公民館は事業を通して、多世代とのつながりや地域の連帯意識を高めて地域づくりを進めてきました。

そこで本大会では、「多世代の関わり」や「関係機関との連携・協働」などの視点を基に、県内外の実践の紹介や協議をとおして、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者とともに学び合い、より一層の公民館の充実と発展をめざして実施します。
- 2 大会テーマ**

「持続可能な地域づくりに向けて 公民館に求められるもの」
～「つどう」「つながる」公民館活動～
- 3 主 催**

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 共 催**

糸島市
- 5 後 援**

福岡県、糸島市教育委員会、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県PTA連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 6 期 間**

令和4年8月24日（水）
- 7 会 場**

九州大学伊都キャンパス椎木講堂
〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744番地
TEL：092-802-2160



8 参 加 者

約 1,000 名

公民館等職員、自治（町内）公民館等関係者、市民センター関係者、コミュニティ施設関係者、公民館運営審議会委員、社会教育委員、学校教育関係者、生涯学習・社会教育関係者、社会教育関係団体

9 日 程

12:15 ～ 受付

13:00 ～ 13:35 開会・記念式典（35分）

13:40 ～ 14:30 講演（50分）

「持続可能な地域づくりに向けて、公民館に求められるものとは」

九州共立大学 名誉教授 古市 勝也 氏

14:45 ～ 15:55 パネルディスカッション（70分）

「持続可能な地域づくりに向けて、公民館に求められるものとは」

・パネリスト

島根県益田市教育委員会 ひとづくり推進監

大畑 伸幸 氏

西益田公民館主事 石川 有里 氏

はじまりシェアハウス（学生版オンライン公民館）

九州大学教育学部4年 和田 千夏 氏

九州大学教育学部3年 日枝 幹登 氏

久留米工業大学建築・設備工学科2年

野元 優理 氏

・コーディネーター

九州共立大学 名誉教授 古市 勝也 氏

16:00 ～ 閉会

福岡県公民館連合会表彰



令和4年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役職員）

種別	番号	市町村名	氏 名	所属	役職名	業 績
公立 公民館	1	福岡市	ふじの 野 しげ ひさ 藤 野 重 久	東区 はこ ぎき 箱 崎 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【高齢者教育】 高齢者向け支援講座で校区の歴史や文化をわかりやすく紹介し、地域への愛着の醸成に寄与するなど、地域住民に愛される公民館運営に多大に貢献した。
	2		ふじの 野 くら みつ 藤 野 庫 充	東区 か しい 香 椎 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【高齢者教育】 医療機関等と連携した高齢者向け支援講座では、高齢者の健康維持や健康相談に寄与するなど、地域住民に愛される公民館運営に多大に貢献した。
	3		あ び る ゆき ひこ 阿 比 留 幸 彦	博多区 ひがし すみ よし 東 住 吉 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【高齢者教育】 自治協議会や各種団体、地域住民との連携を密にし、高齢者の生きがいづくりや高齢者を見守るネットワークの充実に力を入れ、地域活動の活性化に貢献した。
	4		た なか よし ひろ 田 中 良 弘	博多区 すみ よし 住 吉 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【健康づくり】 高齢者が元気でいられる時間を延ばすための講座や公民館活動への若年層の参加の取組を推進し、地域コミュニティの推進へ貢献した。
	5		とう 藤 ひで かず 藤 英 和	南区 や なが にし 弥 永 西 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【後継者・指導者育成】 子どもから高齢者までを対象として幅広く事業実施に努め、公民館活動を広めるとともに地域住民の学習意欲の醸成を図り、地域の担い手づくりの育成に貢献した。
	6		うえ ぞの ゆき のり 上 蘭 幸 則	早良区 さ わ ち 早 良 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【多世代の連携】 公民館の運営において子どもから高齢者まで幅広い世代がつと交流できる場づくりに努め、地域の特性に合ったコミュニティづくりに貢献した。
	7		きく かわ か よこ 菊 川 香 代 子	東区 わ しろ 和 白 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【高齢者教育】 高齢者の地域参画支援講座では、地域住民のニーズを考えながら情報収集し、健康体操、レクリエーションなどに取り組みながら地域づくりにも貢献した。
	8		さか ぐち なお み 坂 口 直 美	東区 まつ しま 松 島 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【家庭教育】 公民館の役割である「あつまる」「まなぶ」「つなぐ」をテーマにパパママ世帯を応援した数々の講座を企画・実施し、開かれた公民館運営に貢献した。
	9		なか ちか ち か 中 村 智 華	博多区 おお はま 大 浜 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【家庭教育】 地域を担う人材育成ができる講座の充実に努め、特に子どもの健全育成や子育て教室等に力を入れることで、子どもやその保護者の参加促進に貢献した。
	10		つち もち とも こ 土 持 友 子	博多区 とう こう 東 光 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【家庭教育】 親しみやすい公民館づくりを目指し、特に子どもの健全育成や子育て教室等に力を入れることで、子どもやその保護者の参加促進に貢献した。
	11		のり つね のぶ こ 乗 常 信 子	博多区 いた づけ 板 付 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【家庭教育】 各種団体や小・中学校と連携し、人材の発掘及び育成に努めた。特に子どもの健全育成や子育て教室等に力を入れ、子どもやその保護者の参加促進に貢献した。

種別	番号	市町村名	氏 名	所属	役職名	業 績
公立 公民館	12	福岡市	か げ ち さ こ 鹿 毛 知 佐 子	早良区 い い く ら ち ゅ う 飯 倉 中 央 公 民 館	し ゅ 主 事	【多世代の連携】自治協議会とともに校区の全世代を対象にコンサートを企画するなど、幅広い世代の参画を得ることで課題解決に寄与し、校区のまちづくりの推進に貢献した。
	13		き ひ ら み ち よ 紀 平 三 千 代	早良区 む ろ 室 見 公 民 館	し ゅ 主 事	【多世代の連携】子どもの健全育成に力点を置いた事業を企画するなど、学校や多くの団体の積極的な参画を得ることで、地域における人材育成や人材発掘に貢献した。
	14	鞍手町	ゆ え ひ さ こ 由 衛 久 子	鞍手町 ち ゅ う 中 央 公 民 館	し ん ぎ かい 審 議 会 員	【家庭教育】絵本の読み聞かせを中心として小学校や保育所、老健施設などで事業を推進するとともに、公民館運営にに対し委員として助言するなど、公民館活動の発展に貢献した。
	15	柳川市	しら た に の ぶ お 夫 白 谷 宣 夫	柳川市 や ま と こ う 中 央 公 民 館	かん 館 長	【団体育成・サークル活動】校区の運動会等の地域行事や公民館講座などに意欲的に取り組み、また指導者の育成も図るなど、地域のリーダーとして生涯学習環境の整備に貢献した。
	16	筑後市	お が わ み や 小 川 美 弥	筑後市 ち ゅ う 中 央 公 民 館	し ゅ 主 事	【男女共同参画】受講者の特技を商材として収入に結び付ける方法を学ぶ講座を企画するなど、「仕事と家庭の両立支援」や「就業支援」の観点で、女性の自立支援に貢献した。
	17		さ か き け い こ 榎 敬 子	筑後市 ち ゅ う 中 央 公 民 館	し ゅ 主 事	【高齢者教育】様々な講座を企画し、高齢者を中心とした筑後市民の教養・文化等学習活動の推進、健康の維持・増進等に寄与し、また地域指導者の育成にも貢献した。
	18	赤 村	た に の ぶ ひ ろ み 谷 延 ひ ろ み	赤村 ち ゅ う 中 央 公 民 館	し ゅ 主 事	【組織づくり・仕組みづくり】未実施だった中央公民館主催の講座を開講し、企画・立案から講座開講までの流れを確立し、定着させた。団体の自立、組織の活性化に貢献した。
自治（町内） 公民館	1	北九州市	まつ い あ つ き 松 井 厚 樹	小倉北区 こ が ね こ う 黄 金 公 民 館	かん 館 長	【青少年教育】未就園児を育てる親たちの居場所づくりや小中学生への学びの場の無償での提供など、地域に根ざした青少年教育等に貢献した。
	2		まつ い や す こ 松 井 泰 子	小倉北区 な か い じ ん 中 井 婦 人 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】小学校下校時の防犯活動や健康講座、救急救室の開催など、多世代が安全で快適に暮らすことのできる地域づくりに貢献した。
	3		や ま だ し ゅ こ 山 田 修 子	小倉南区 つ だ し ん 津 田 新 町 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】書道教室や囲碁・将棋教室などお年寄りから子どもまで広く参加可能な文化活動を実施し、多世代の交流を図り地域の活性化に貢献した。
	4		い わ お ま な ぶ 岩 男 學	若松区 え だ み つ だ い い 若 古 前 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】地域の交流行事や敬老行事を通して、多世代にわたる地域住民の連帯意識を強め、明るく住みよいまちづくりに貢献した。
	5		み や ぎ き や す ゆ き 宮 寄 靖 幸	若松区 だ い 第 2 3 区 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】地域で親子ふれあいレクリエーションや敬老行事等を実施し、行事を通して多世代にわたる地域住民の連帯意識を強め、明るく住みよいまちづくりに貢献した。
	6		き よ た ひ で お 雄 清 田 秀 雄	八幡東区 え だ み つ だ い い 枝 光 第 一 区 公 民 館	かん 館 長	【高齢者教育】ボランティアグループや社会福祉協議会と連携し、訪問活動や公民館サロンを実施、運営するなど、高齢者教育に貢献した。
	7		く ほ ひ ろ つ ぐ 次 久 保 紘 次	八幡西区 ま ち こ う じ ゃ く 町 上 津 役 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】公民館主催行事を企画・実行し、ふれあいと交流を促進するなど、地域づくりや近隣組織等との連携を行い地域の発展に貢献した。
	8		き し の ぼ る 来 住 昇	八幡西区 ち ゃ や は る だ ん 茶 屋 の 原 団 地 公 民 館	かん 館 長	【高齢者教育】「高齢者サロン会」や「子供サロンの会」など、年間を通じて幅広い年齢層に対応した様々な取組を行い、自治公民館の利用促進と地域づくりに貢献した。

種別	番号	市町村名	氏 名	所 属	役職名	業 績
自治（町内）公民館	9	北九州市	もり もと しん じ 森 本 新 二	八幡西区 陣 山 少 年 会 館 じん やま しょう ねん かい かん	かん 館 ちよう 長	【多世代の連携】館長として、様々な取り組みを通して地域の活性化に寄与するとともに、多世代に向けた取組によって幅広い年齢層の交流の場をつくり、公民館の利用促進と地域づくりに貢献した。
	10	直方市	かみ かわ みつ あき 上 川 光 明	直方市 上 頓 野 校 区 自 治 区 公 民 館 じ ち 区 こう かん	かん 館 ちよう 長	【環境問題】一斉清掃やリサイクル活動等の環境美化運動に積極的に取り組むなど、地域のリーダーとして校区内外に活動を広げ、直方市の社会教育及び社会福祉の増進に貢献した。
	11	大刀洗町	さ だ とし ひこ 佐 田 敏 彦	大刀洗町 とみ 富 多 分 館 とみ た ぶん かん	ぶん かん ちよう 長	【多世代の連携】五庄屋太鼓の活動をととして、多世代で連携をとりながら、伝統と文化の後世への継承と、青少年の育成、地域コミュニティの団結と活性化を図り、地域づくりに貢献した。
	12	大川市	し き げん じ ろう 志 岐 源 次 郎	大川市 堤 町 公 民 館 つみ まち こう かん	かん 館 ちよう 長	【組織づくり・仕組みづくり】館長としてイベントの企画・運営に尽力しつつ、校区コミュニティ協議会の役員としても様々な部署で活躍し、役員体制や役割分担等の組織づくり・仕組みづくりに貢献した。
	13		なか はら とも ひろ 中 原 智 博	大川市 小 坂 井 町 公 民 館 こ ざか い ちよう かん	かん 館 ちよう 長	【多世代の連携】ふれあい運動会を開催するなど町内の融和と明るいまちづくりを図るとともに、敬老会への子ども会の参加による世代間交流も促進し、公民館の活性化とまちづくりに貢献した。
	14	飯塚市	おお むら てつ や 大 村 哲 也	飯塚市 しん こう じ ち こう かん 振 興 自 治 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【健康づくり】季節ごとにイベントを実施するとともに、健康講座やいきいきサロン、ラジオ体操等、高齢者が健康的に過ごせる行事を計画し、地域の活性化に貢献した。
	15		いけ もと たけ ふ じ 池 本 武 富 士	飯塚市 い い づか ひら つね ほん まち 飯 塚 平 恒 本 町 公 民 館 じ 自 治 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【組織づくり・仕組みづくり】健康教室を実施し、高齢者の健康意識を高めるとともに、朝の見守り活動、青色回転灯パトロールを実施し、地域の防犯活動に貢献した。
類似施設	1	糸島市	すえ なが せい いち ろう 末 永 誠 一 郎	糸島市 か や コ ミ ュ ニ 可 也 コ ミ ュ ニ テ イ セ ン タ ー	センター長	【多世代の連携】多世代が参加する地区球技大会等、校区事業や地域団体の活動の運営や支援を多数行い、校区住民の交流を促し、地域における多世代の連携に貢献した。
	2	朝倉市	まる やま ひろ こ 丸 山 弘 子	朝倉市 あさくら ち いき 朝 倉 地 域 コ ミ ュ ニ テ イ 協 議 会	事務局員	【健康づくり】コミュニティ協議会の広報発行により、地域住民への情報提供や地域課題に対しての啓発等に取り組むとともに、健康講座、運動教室の開催など、健康づくりに貢献した。

令和4年度福岡県公民館連合会表彰一覧（優良公民館）

種別	番号	市町村名	公 民 館 概 要				特 色
公立 公民館	1	八 女 市	公 民 館 名		所 在 地	館 長 名	地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生し元気にする活動として「地域学校協働活動事業」を八女市黒木公民館が中核となって推進している。 学校支援と小・中学校サマースクール、中学校における放課後補充学習などの放課後学習支援活動及び夏休み体験講座などの体験活動を実施している。
			くろ き こう かん 黒 木 公 民 館		〒834-1216 八女市黒木町桑原212番地	安徳和幸	
			施設・設備の状況	敷 地 面 積	4,732㎡		
				建物延面積	2,163㎡		
				構 造	鉄骨 2 F		
				建築年月日	S47. 11. 15		
				主 な 設 備	大ホール／視聴覚室／ 会議室1／会議室2／調理室		

講 演
パネル・ディスカッション

講演

「持続可能な地域づくりに向けて、 公民館に求められるものとは」



九州共立大学

名誉教授 ^{ふる いち}古市 ^{かつ や}勝也 氏

プロフィール

国立社会教育研修所（現：国立教育政策研究所社会教育政策研究センター）、九州女子短期大学教授、九州女子大学・同短期大学図書館長、九州共立大学・九州女子大学・同短期大学生涯学習研究センター所長、九州共立大学地域連携室長等を歴任。

主な活動

現在、「地域ブラブラレポート」発信中。中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会世話人代表、福岡市社会教育委員の会議議長、福岡県立社会教育総合センター運営委員長。

令和4年第67回福岡県公民館大会 講演資料

日時：令和4年8月24日（水）13：40～14：30（50分）

主催：福岡県教育委員会・福岡県公民館連合会

場所：九州大学伊都キャンパス推木講堂

講師：九州共立大学 名誉教授 古市 勝也

**テーマ：持続可能な地域づくりに向けて、公民館に求められるものとは
～地域の「つながりづくり」の拠点は公民館！～**

キーワード：①今！地域が！学校が！大変ですよ！

②地域が見直されていますよ！

③地域全体での協働活動が求められていますよ！

1. コロナ禍で社会教育の本質が見えてきた

(1) 「つながり」を求めている

事例－1：「第39回中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」から

「つながり合い」「集いの場」を求めている！

事例－2：「福岡市東住吉公民館」の「歩こう会」から

「会って・話して・つながって・共感する場」を求めている！

(2) 地縁団体等の活性化が求められている

ア. 令和元年北九州市「地域福祉に関する市民意識調査」

「地域における支え合いは必要であり、今後も続けるべき」48.0%

「現在の自分に必要ないが大切だと思う」38.6%

*「支え合い」が「必要または大切」とする人・・・計86.6%

イ. 地域の活性化には・・・活動環境整備！ 地縁団体の活性化！

「地域活動の情報の入手し易い仕組み充実」49.7%

「子供の頃から地域活動を行う精神を育む教育」43.1%

「興味・関心のある地域活動を自由に体験できる仕組み」40.4%

「行政による地域への積極支援」37.6%

「自治会や町内会などの地縁団体の活性化」28.1%

ウ. 「学びと活動の循環」が必要

(ア)「今後の地域活動における社会教育」は、「個人の幸福な人生と、持続可能な活力ある社会の実現」を目指す・・・

(イ) 今後の社会教育の手順・手法

「①社会教育行政担当部局と、首長部局、学校、NPO、企業等の多様な主体との連携・協働」

「②幅広い専門性を有する人材の支援の下」「③個人の主体的な学びを求め」「④「学びと活動の循環」につなげていく」

出典：「平成30年12月21日「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」から

(3) 地域活動の実践の中核施設

*「つながりの場」は社会教育施設（公民館、図書館、博物館等）

2. 地域を取り巻く現状診断

(1) 他省庁が地域を欲しがっている・地域活動無しには施策は浸透しない

社会教育活動の中核、公民館の役割変化	行政改革・規制緩和後の社会教育の現状
第五章 公民館 (目的) 第二十条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	＊健康増進➡厚生労働省（健康21） ＊スポーツ➡スポーツ庁（スポーツ文化） ＊生活文化➡文化庁 ＊社会福祉➡厚生労働省 ↓ 残ったのは！ 教養の向上、情操の純化、

(2) ところが一方では！「社会教育・公民館への新しい役割」が期待されている！

＜今！関係省庁も「社会教育・公民館」を注目している！＞

厚生労働省：地域包括ケア・地域共生社会づくり、
 総務省：地域運営組織、
 国土交通省：地域防災組織、
 国土交通省の観光庁：観光地域づくり支援
 地方創生：まち・ひと・しごと創生会議：小さな拠点、
 経済産業省：未来の教室

(3) 多様化・複雑化する地域課題の解決には！

- ＊他省庁、関係機関団体（NPO等の民間団体、企業等）と「つながる！」
- ＊地域の関係機関団体と連携・協働・ネットワークして「人づくり・地域づくり」

(4) 地域社会とつながる学校・・・公民館への期待！

- ①「社会に開かれた教育課程」を柱とする学習指導要領の改訂
- ②「地域とともにある学校」への転換
- ③「学校を核とした地域づくり」の推進

(5) コミュニティスクール（cs）を推進加速する！

- ①学校運営協議会の設置努力義務
- ②若者から高齢者までが活躍し地域を創生する場として、地域学校協働本部を全小中学校区をカバーして整備
- ③地域コーディネーターの配置

3. 社会教育の手法を活かした公民館の運営

(1) 地域における社会教育活動の拠点・・・積み上げて来た資源を活かす！

- ①地域の人々が集い・つながる拠点（地域活動の人脈）
- ②地域の人々の学習手法や学習領域で豊富な蓄積がある（学習手法）
- ③地域が歴史的に積み上げた貴重な教育財産を有する（教育財産）

(2) 指定管理者制度等を活用した柔軟な取組

①使い勝手の良い運営

(3) 多様な関係機関団体を「つなぐ」コーディネート役

①多様にして複雑化した地域課題の解決は地域の関係機関団体と「つなぐ」

(4) 新たなテクノロジーの活用

①埼玉県日高市高麗川公民館講座にzoom講義

②日高市社会教育委員8人と毎月オンラインによる「ゼミ」

4. 公民館等に求められる新しい役割

①地域及び地域住民とともにある施設（公民館）

②使い勝手が良い

③地域課題を解決するために必要な学習の促進（仕掛け人）

④学習の成果を地域活動に活かす（放課後子供教室、児童クラブ、学校支援等）

⑤地域コミュニティの維持と持続可能な発展を推進する中核センター

⑥地域の防犯拠点

⑦「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校・地域との連携・コーディネート

⑧地域学校協働活動の活動支援（学校運営協議会・地域学校協働本部）

⑨中山間地域における「小さな拠点」の中核となる施設

⑩「地域運営組織」（自治会・町内会等）の活動基盤

＜公民館は＞

- * 人を活かす！地域の宝（先人、施設、文化財、自然等）を活かす！
- * つながりづくりの手法を活かす！（常日頃から人を・つながりを大切に！）
- * 使い勝手の良い！公民館へ！

パネル・ディスカッション

「持続可能な地域づくりに向けて、公民館に求められるものとは」

コーディネーター

九州共立大学 名誉教授

ふるいち かつや
古市 勝也 氏



登壇者

島根県益田市教育委員会 ひとづくり推進監

おおはた のぶゆき
大畑 伸幸 氏



1962年島根県益田市生まれ。小・中学校、社会教育行政と様々な教育現場を経験。29年度より現職。「持続可能な地域づくりのために持続可能なひとづくり」を推進するため、各種施策を展開中。

【テーマについて】

益田市では、公民館はひとづくりの拠点として、多世代をつなぐことを大切にしている。特に子どもを中心に据えた活動を地域の中で展開し、多世代が対話しながら活動することによって、子どもや関わる大人たちが成長し、それぞれが主体性をもってつながりあっていく。こういった活動をコーディネートすることが公民館の役割であり、持続可能な地域づくり、ひとづくりにつなげていくためには重要だと考えている。

島根県益田市教育委員会 西益田公民館主事

いしかわ ゆり
石川 有里 氏



1967年島根県安来市生まれ、2012年から西益田公民館に勤務。現在11年目。地域の大人と子どもをつなげるコーディネーター的な役割を担う。

【テーマについて】

「子どもも大人もまちづくりの主体者に！」

これは西益田のキーワードです。地域づくりとは、もちろんまちのためではあるけれど、何よりそこに関わった人たちの人生が豊かになることだと思います。地域の人と一緒に「西益田の未来をつくっている」という喜びを日々感じ、これこそが持続可能な地域づくりだと信じています。

はじまりシェアハウス（学生版オンライン公民館）

九州大学教育学部4年 ^{わだ} **和田** ^{ちなつ} **千夏** 氏



自身の経験から地域×教育に興味を持ち、大学入学後、社会教育と出会う。フィールドでの縁で社会教育や地域に興味のある全国の学生をつなぐ新たなコミュニティ、「はじまりシェアハウス」を立ち上げる。

【テーマについて】

新型コロナウイルスの影響で物理的に集うことが難しくなり、つながるための手段が増えました。だからこそ、今がコミュニティの真価について考え直していくチャンスだと思います。その中心となるのが公民館ではないでしょうか。私たち学生が、「これからのコミュニティ」を形にしようとしたものがはじまりシェアハウスです。メイン企画である「学生版オンライン公民館」を実施するに際して「公民館的な」場について考えました。

九州大学教育学部3年 ^{ひえだ} **日枝** ^{みきと} **幹登** 氏



九州大学岡幸江研究室にて現在、社会教育について学んでいる。また、学生版オンライン公民館・はじまりシェアハウスの創設メンバーとして企画・運営に携わる。

【テーマについて】

「はじまりシェアハウス」は全国の学生の集まった、ビデオ会議ツールZOOMを使った交流の場ですが、交流の場である以上にコミュニティとして存在しています。メンバーそれぞれの個性・colorfulさを尊重しています。

久留米工業大学建築・設備工学科2年 ^の **もと** ^{ゆうり} **野元** **優理** 氏



鹿児島県出身・鹿児島県立甲南高等学校を卒業後、久留米工業大学に進学し、建築を専攻。オイコス赤シートメガネ開発本部という受験生のためになるコンテンツや商品を開発する学生団体の代表を務める。

【テーマについて】

オンライン公民館とリアル公民館の共存こそが今後大切になってくると考えています。コロナウイルスが収まりリアル公民館が開設されていく中で高齢者や障害のある方にとってオンライン公民館というコンテンツは今後もしも残し、オンラインの可能性を広げていくことが今後の展望です。

生涯学習社会の実現に向けて ～島根県益田市 未来を担うひとづくり～

1. 地方創生と「教育」

(1) コミュニティからソーシャルへ

☐ コミュニティデザインからソーシャルデザインへ ⇒「地縁」から「志縁」へ

(2) 「地域自治組織」が新たな地域づくりの核に？！

☐ 地域の課題を自分たちで解決… ⇒益田市では、地域の様々な団体組織を「地域自治組織」に再構築

☐ 「課題」ばかりで人は元気になるのか？ ⇒活動作りの中で「課題」を解決

(3) 「地縁」の薄まりの中、地域が結集できるのか？

☐ 「地縁」の再構築をいかに図るか…、「無縁社会」をいかに… ⇒「子縁」&「未来の担い手」を接着剤

(4) ひとを繋ぎ循環させる ～「今のひと」と「未来のひと」をつなげる！

☐ 「ライフキャリア教育」を基盤に！ ⇒将来「益田で生きる」ことを選ぶ、『種まき』を！

2. 益田市の事例から…その1

(1) 豊川小学校・公民館では…

☐ 地域ぐるみで子どもを育てよう！ ～「豊川地区つろうて子育て推進協議会」の展開

■益田市が目指す『地域学校協働本部』とは… ⇒コミュニティがベースになる、地域主体（主導）型

(2) 小学校を地域の拠点に！ ⇒豊川小学校をコミュニティスクールに！

☐ 学校再編計画の中で中山間の小学校と公民館は… ⇒まずは、小学校の中に公民館を！

■「今後の小中学校の在り方に関する基本方針」（H30.12 策定）⇒中山間の小学校を地域の拠点に

(3) 子どもが動けば大人が動く！ ⇒子ども育ちの場を「学校だけ」から「地域へ」広げる

☐ 「少年は必要とされて初めて大人になる」ジュン・スタインベック（米ノーベル文学賞作家）

(4) 「子ども」を中心に据えたまちづくりへ！

☐ 地域自治組織の部会として「豊川地区つろうて子育て推進協議会」を位置づける！

3. 益田市の事例から…その2

(1) 西益田小学校・「西益田まちづくりの会」による住民主体のつながりづくり&活動づくり

⇒地域自治組織づくり

⇒次世代育成検討委員会：中高生とのつながりづくり、活動作り

その他：地域振興検討委員会、地域福祉検討委員会、地域安全検討委員会

⇒人口3,873人 1,739世帯 高齢化率44.67% 保育園4、小1、中1、特別支援学校1

(2) 西益田地区に何か起こったのか！ ⇒「子縁」と「若者」が地域の大人をつなぐ！

⇒公民館がハブとなり、継続的に「ふるさと教育」に取り組む！

⇒日本一の清流「高津川」をテーマに、川体験を保育園、小学校、中学校、公民館で継続開催

- ⇒西益田地区つろうて子育て協議会による様々な地域での活動の継続（公民館が事務局）
- ⇒「憧れの連鎖」による中学生の覚醒
- ⇒中学生の学校外での活動誕生
- ⇒子どもが動き、大人がつながり、活動の拡大
- ⇒西益田小学校がコミュニティスクールへ！

4. 益田市の事例から…その3

(1) 「ひとづくり」が施策の中心に！

- 地方創生と総合戦略と「ひとづくり」 ⇒「今」の担い手と「未来」の担い手をつなぐことが持続可能なひとづくりに！

(2) 「益田市ひとづくり協働構想」の策定 H28

- 「未来の担い手」と「地域づくりの担い手」と「産業の担い手」 ⇒庁内の組織が明文化

(3) 持続可能な地域づくりのためには持続可能なひとづくりを！

- 3つの担い手の一体的な取り組み ⇒子どもたちに「人生の予行練習」を

(4) 「ひとづくり」は「ひとつなぎ」

- つながるためには「協働」 ⇒その前提には「対話」が！ ⇒「対話」はスキル！

5. 「ひとづくり」で社会教育施策を市の施策へ…

(1) 「つろうて子育てプロジェクト (TKP)」への集約 ⇒「子縁」を「志縁」に、そして、ネットワークに

- 「地縁」の再構築を「子縁」で！
- H11から「学社融合」⇒H16から「ボランティアハウス（地域子ども教室）」⇒H23から「教育協働化」
- H17から、全県での「ふるさと教育」：の実施（小中全クラス35時間／年間 実施）
- 学校の教育活動への地域の方の参画から、学校外での「子どもの育ちの場」作りへ
⇒子どもの地域貢献活動 in（保幼）⇒about（小）⇒for（中）⇒with（高）
- 全小学校区で「〇〇地区つろうて子育て協議会」の設置 ⇒具体的な活動の場づくり推進
⇒コミュニティスクールの基盤にも ～学校運営協議会のメンバーは「つろうて」から推薦

(2) 中山間地域の地域づくりの拠点は… ⇒中山間地域の小学校を地域の拠点施設に！

- 「学校の適正規模」？ + 「地域振興&人口拡大or維持」？ + 「公共施設整備計画」？
- 「益田市新学校宣言」 ⇒小学校を「子育て拠点」に！ ⇒コミュニティの拠点到！
⇒H28 豊川小学校に、『社会教育コーディネーター』を設置
⇒「つろうて子育て協議会」のメンバーが「地域学校協働本部」のメンバーに！
⇒H30 「社会に開かれた教育課程」の実践加速 ⇒学校教育と社会教育の往還の数の増大！
⇒R 3 真砂地区の拠点施設建設に際し、その中に真砂小学校を設置

(3) ひとづくり=ふるさと教育+ライフキャリア教育 が次世代を育てる！

- H27 「益田市総合戦略策定」
H28 「益田市ひとづくり協働構想」「仕事」&「地域づくり」&「未来」の担い手
「益田市未来を担うひとづくり」策定
- 「ワークキャリア教育」から「ライフキャリア教育」へ ⇒仕事探しから、いかに生きるかへ

□「ロールモデル」との出会いと対話 ⇒ 対話が人をつなげる

■「益田版カタリバ」、「新・職場体験」、「夢の教室」、「中高生の地域貢献&課題解決活動」など
⇒地域振興部局、産業部局、学校教育課が、「ひとづくり」に主体的に動き出す！

(4) R2.4月一般社団法人「豊かな暮らしラボラトリー（ユタラボ）」の設立

□14名のIターンの若者が、中間支援団体として、ひとづくり&地域づくりに爆走中！

(5) 「ひとが育つまち益田フォーラム2022」の開催 ～2022年3月5日（土）～

6. これからの「教育」と地域づくり…

(1) 「今」、学校は？！

□「キャリア教育」と「ふるさと教育」、「探求」 ⇒学校の教員だけでは社会を生き抜く力は醸成できない
⇒教員しかしたことがない教員、校区に住んだことのない教員、

地域活動に参加したことのない教員、市民活動（ボランティア）に参加したことのない教員

□小中高等学校の危機？ ⇒「ロールモデル」との出会いの減少！

□たくさんの「ロールモデル」との出会いと対話が必要！

(2) 「社会に開かれた教育課程」の力ぎは… ⇒子どもはどこで育つの？ 学校外の育ちの場を豊かに！

⇒今こそ社会教育側の頑張りが！ ⇒「キャリアパスポート」が鍵

⇒GIGAスクールにおいて、益田市は一人1台のタブレットを学校&家庭&地域で活用

(3) 益田市の「ひとづくり施策」の成果は…

①庁内の部局間の横ぐしを入れることができたこと

②官民の協働が進んでいること

③中学生が学校外で公民館を拠点とし、地域の人と地域活動をどんどん作っていること

④高校生の探求学習&総合的な学習の時間に、行政や中間支援団体（一般社団法人豊かな暮らしラボラトリー：通称ユタラボ）が関わっていること

⑤高校生の学校外での活動が活発になり、ユタラボに市内高校生の10%が関わっていること

⑥保幼小中高公民館民間団体等でコンソーシアムをつくることで、地域づくり・産業の担い手育成について一体的に取り組んでいること ⇒情報交換・協働体制・予算内容の共有

⑦「ひとづくり」のベースに「対話」を位置づけ、「対話」を生かした益田版カタリバ等を小中高公民館民間団体等で実施、積み重ねることで、関係づくり、活動作りがスムーズにできていること

⑧益田に将来住みたいと答える成人者が73%となったこと

⑨子どもたちに関わった大人たちの心に灯がともり、活動の主体者へと変化できていること

◆お問い合わせ nobuchin4319@gmail.com

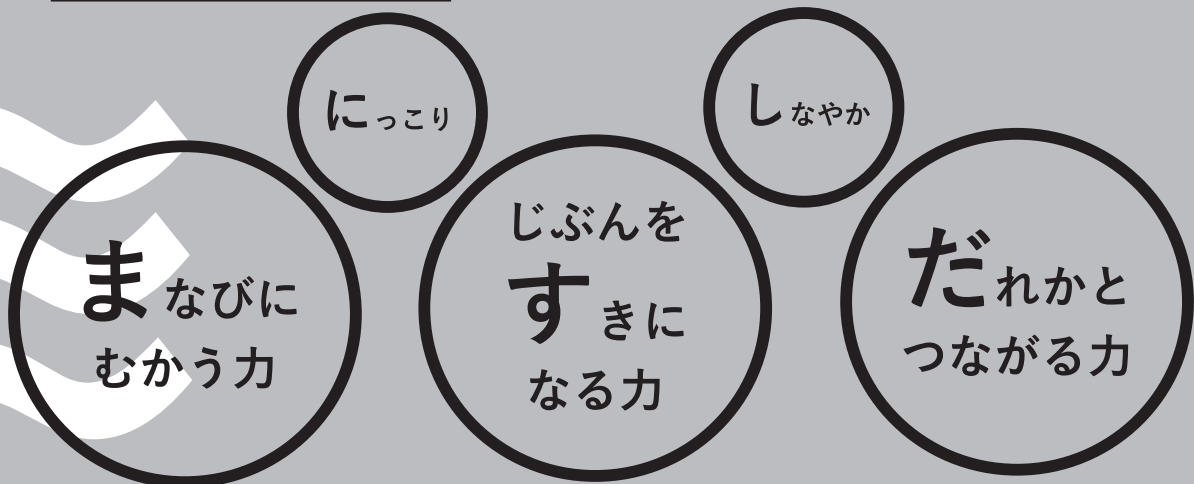
Facebookもしています！「大畑伸幸」、「ネイチャーキッズ寺子屋」

◆「ひと」に焦点を当てたホームページの開設

「ひとが育つまち 益田」or「ますだのひと」で検索

子どもと地域がつなぐと・・・

1. 子どもたちにとって



- 魅力のある大人を知る
- 自分の役割を考える
- 多様な価値観に出会う

- 自分を振り返り、自分の成長を感じる
- 認めてくれる人、認めてもらえる場、瞬間、思い出が増える
- 助ける・助けられる、頼る・頼られる心地良さを感じる

- 安心できる居場所が増える
- 見方・捉え方・考え方・興味関心が広がる
- さまざまな人に関わることで対話力・コミュニケーション能力が高まる

2. 大人たちにとって

- 自分のできることを活かし、力を発揮できる（やりがいづくり）
- さまざまな年代の子どもたちとふれ合え、その成長が喜びになる（元気づくり）
- 子ども自身にもさまざまな力があることを知る（子どもから学ぶ）
- 子どもたちの姿を通して、西益田の再発見ができる（大人のふるさと学習）
- 立場の違う人、幅広い年代の人と関わることで、価値観が広がる（絆の深まり）



これが西益田ブランド！

子どもと地域がとぎれない！
地域での体験の積み重ねがたくさんある！
魅力的な大人がたくさんいる！



西益田地区
つろうて
子育て
協議会
2022

ーいいまちにしますダ！つろうて子育てプロジェクトー

子どもも大人も 「まちづくりの主体者」になろう！

子どもたちは、やがて大人になり、より良い社会を創る主体者になることが期待されています。

西益田地区でも、子どもたちが主体的な立場に立ち、まちの課題解決に向けて、アイデアを出し合い、汗をかきながら、活動する場面が増えています。そうした活動を通して身につくのは、以下のようなことです。



西益田地区では、保育園、認定こども園、小中学校、特別支援学校、そして地域の大人が、協働でさまざまな教育活動を展開しています。みんなで西益田の子どもたちを、将来のまちづくりの主体者に育てていきましょう。

それは、子どもたちに限ったことではありません。自分たちの地域のことを自分たちで考え、関わり、楽しんで生活する。誰かにやってもらう、誰かがやってくれるじゃなくて、地域のことを自分ごととして捉えていく。子どもたちの活動を通して、子どもも大人も育ちあうことを大切にしたいです。

だから、私たちは、宣言します。

世代をこえて名前を呼び合える
人と人のつながりの見える
素敵なまちにしますダ！

はじまりシェアハウス

はじまりシェアハウスとは??

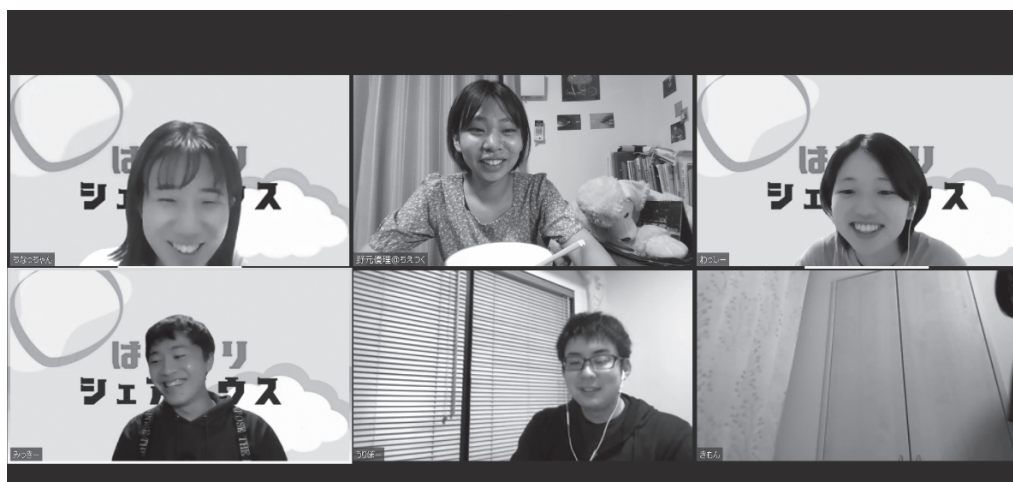
全国から集まった大学生にオンラインシェアハウスの住人となってもらい、距離を超えてつながりたくさんの「はじまり」を生み出す新しい形のコミュニティです！

社会教育を学ぶ学生が中心となり、共に学び合える場を創ります！！



私たちは感染症の脅威により突如あらゆるコミュニティから切り離され、オンラインでの代替などの工夫をしながら学生生活を送ってきた。「代替」だったオンラインツールは今や物理的な距離を超えて人とつながるきっかけになったり、場所を選ばずに学べることでかえって行動範囲が広がったりと利点も出てきた。一方で、実際にその場に集うことこそに意味があるのだと改めて実感する場面も増えている。対面か、オンラインか、ハイブリッドか、コロナ禍を経てつながり方の手段がより多様化する今、手段だけに囚われず、コミュニティの在り方や可能性について考えていく必要があるのではないか。地域の中で新たなつながりの在り方を追求しているくろめオンライン公民館の活動と全国の学生とのコミュニティ形成に挑戦する私たち学生交流分科会の運営メンバーとの経験とを重ねて、Afterコロナのコミュニティの姿の可能性について、議論する。





○進行イメージ

アイスブレイク

10～15分

本 編

60分

交流会

15分

○各回について

初回 6月19日(日)

テーマ：コロナ禍におけるコミュニティのつながりについてのガチ会議

2回目 7月3日(日)

テーマ：再発見、私の地元、みんなの地元。

3回目 7月17日(日)

テーマ：見つめあい・気づきあい

4回目 8月7日(日)

テーマ：実際にやってみよう！オンライン公民館！



◆◆◆ × 毛 ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of multiple rows of dashed lines on a light gray background.

福岡県公民館大会年表

大会	月日	開催地	大会主題	全体討議テーマ
第1回	昭和28年 1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年 4月	八幡市		
第3回	昭和29年 11月19日 ～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す	公民館の振興はいかにあるべきかー社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年 11月21日 ～22日	大牟田市 中央公民館	戦後10年間の公民館活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す	赤字財政下の公民館をいかに振興するか
第5回	昭和31年 10月25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す	公民館の現状はこのままでよいのか
第6回	昭和32年 10月19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる	新生活運動の反省と今後の推進方策について
第7回	昭和34年 11月21日 ～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年 10月3日 ～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に則して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいのか
第9回	昭和36年 6月3日 ～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいのか
第10回	昭和37年 5月13日 ～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいのか	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいのか
第11回	昭和38年 5月25日 ～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくろう	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか
第12回	昭和39年 5月31日 ～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいのか	公民館への期待ーとくに市民性の向上を中心としてー
第13回	昭和40年 5月23日 ～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か
第14回	昭和41年 5月24日 ～25日	田川市体育館	住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう	住民の創造的生活の確立のために（分科会テーマ）
第15回	昭和42年 5月14日 ～15日	豊前市市民会館	今日の生活をみつめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習（記念講演）
第16回	昭和43年 5月28日 ～29日	北九州市 八幡市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題（記念講演）
第17回	昭和44年 5月31日 ～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割（記念講演）
第18回	昭和45年 5月26日 ～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう	公民館の理想と現実
第19回	昭和46年 5月25日 ～26日	飯塚市 文化センター	住民の学習に応えられるための公民館の施設設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を育てるための教育をすすめる	岐路にたつ70年代の選択（記念講演） 公民館の理想と現実



大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第20回	昭和47年 7月6日 ～7日	行橋市市民会館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考え、また新しい地域社会（コミュニティ）形成のための公民館活動のあり方を考える		明日を創る公民館の新思路（記念講演）
第21回	昭和48年 5月30日	福岡市立少年文化会館ホール	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求にこたえるための公民館の役割（シンポジウム）
第22回	昭和49年 6月6日	八女市町村会館	魅力ある公民館の創造と前進	実践発表 対面討議 全体討議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年 6月1日	直方市民会館	豊かな地域づくりをめざす公民館の役割	シンポジウム 講演	コミュニティの形成と公民館 これからの公民館経営
第24回	昭和51年 6月3日	豊前市民会館	住民の生活を高めるための公民館事業のあり方を考える	パネル討議 講演	住民の求めに応ずる公民館事業 住民の生活を高めるための公民館事業
第25回	昭和52年 9月22日	北九州市小倉南市民センター	住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(9) 講演	これからの社会教育
第26回	昭和53年 7月5日	太宰府勤労者体育センター	地域の住民の学習要求に応えるための具体的な公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域と社会教育
第27回	昭和54年 7月3日	大川市文化センター	多様化する地域住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年 6月12日	中間体育文化センター	地域住民の実際生活に即した公民館のあり方について	パネル討議 講演	地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について
第29回	昭和56年 6月3日	行橋市民会館	公民館が果たすべき今日的意義と役割を考える	講演 シンポジウム(3)	青少年をとりまく諸問題に対処する社会教育
第30回	昭和57年 6月9日	北九州市小倉市民会館	住民が主体となる公民館の在り方を考える	講演 分科会(8)	住民が主体となる公民館の在り方を考える
第31回	昭和58年 8月9日	福岡県立福岡勤労青少年文化センター	「住民の実際生活に即した公民館の役割と機能を考える」－今、公民館は地域住民とともに何をしなければならないか－	講演 分科会(9)	「現代の青少年問題を考える」－思いやりのある社会づくりのために－
第32回	昭和59年 6月22日	甘木文化会館	生涯教育の視点に立った公民館経営の在り方を考える	講演 パネル討議(3) 分科会(2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年 6月13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる公民館のあり方を考える	講演 分科会(8)	生涯教育の推進と公民館の役割
第34回	昭和61年 5月30日	豊前市体育館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年 8月6日	北九州市立小倉市民会館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	「豊かな心を育てる地域社会の役割」
第36回	昭和63年 7月27日	福岡県立福岡勤労青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざす公民館のあり方を考える	講演 分科会(7)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第37回	平成2年 11月21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民館のあり方を考える	講演 シンポジウム(1) 分科会(4)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第38回	平成3年 7月31日	直方市民会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	地域に根ざした公民館活性化への提言

大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第39回	平成4年 7月30日	久留米市 石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	学校週5日制…公民館はどうする!!
第40回	平成5年 9月17日	大牟田市 大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	ボランティアの心
第41回	平成6年 7月29日	田川市 田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館の役割
第42回	平成7年 8月3日	行橋市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	公民館を元気に未来的にしよう!! - “愛されるため”の魅力をアップ…インテリジェント化-
第43回	平成8年 8月7日	北九州市立 小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館 - 粋な生き方と学業国づくり -
第44回	平成10年 8月20日	志免町立 町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	公民館のこれから - 社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために -
第45回	平成11年 7月30日	中間市 なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年 7月28日	久留米市 石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える	講演 分科会(5)	新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐって～
第47回	平成13年 7月27日	筑後市 サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む 公民館活動の新たな戦略	講演 分科会(5)	家庭教育を支援する公民館活動のあり方
第48回	平成14年 8月2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える	講演 分科会(5)	社会教育の番は、“今” ～完全学校週5日制に対応した 公民館活動のあり方～
第49回	平成15年 7月23日	荏田町立 中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな役割を探る	講演 分科会(3)	メディアから見た地域拠点としての公民館の役割
第50回	平成16年 8月31日	北九州市 北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～	講演 分科会(3)	「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～
第51回	平成18年 8月3日	宗像市 宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の在り方	講演 シンポジウム	地域へのメッセージ・会社の人から社会の人へ少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年 8月8日	直方市 ユメニティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」～子供の生活リズム向上「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動～	講演 シンポジウム	家庭の教育力を高めるために、社会教育の力を公民館の家庭教育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年 8月1日	朝倉市 サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」	講演 シンポジウム	「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～ 「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」
第54回	平成21年 8月1日	柳川市 柳川市民会館	「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」	講演 シンポジウム	「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」 「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」
第55回	平成22年 8月4日	田川市 田川文化センター	「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」	講演 シンポジウム	「地域づくり・まちづくりと公民館の現代的役割」 「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」
第56回	平成23年 8月4日	行橋市 行橋市民体育館	「新しい公共」とこれからの公民館	講演 シンポジウム	「『新しい公共』とこれからの公民館」 「これからの公民館運営と役割」
第57回	平成24年 8月2日	北九州市 八幡市民会館	「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けて	講演 インタビュー・ダイアログ	「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」 「元気の出るまちづくり」



大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第58回	平成25年 8月29日 ～30日	福岡国際会議場 福岡サンパレス 福岡市民会館	「活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして」～自立・協働・創造の実現は公民館から～	分科会(7) 記念講演	※第64回九州地区公民館研究大会（福岡大会を兼ねる）
第59回	平成26年 7月31日	春日市 クローバープラザ	「地域の課題解決や活性化に向けた公民館活動のあり方」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の活性化に向けた公民館の役割」
第60回	平成27年 8月4日	岡垣町 岡垣サンリーアイ	「地域に活力を生み出す公民館の役割」	講演 シンポジウム	「活力を生み出す公民館」
第61回	平成28年 8月10日	久留米市 久留米シティプラザ	「ひとを育て、まちを育む公民館力」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の課題解決に向けて、『公民館』はどうあるべきか？」
第62回	平成29年 8月10日	筑後市 サザンクス筑後	「公民館が核となった人づくり・まちづくりの可能性を求めて」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「持続可能な地域づくり・人づくりに向けた公民館の可能性は？」
第63回	平成30年 8月10日	飯塚市 イヅカコスモスコモン	「持続可能な地域に向けて 公民館が進む道」～この時代だからこそ必要とされる地域の拠点であるために～	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域を元気にする公民館の仕掛け」 「地域を元気にし、住民から必要とされる公民館」
第64回	令和元年 7月26日	荏田町 中央公民館	「持続可能な地域づくりに向けて 公民館が進む道」～地域住民を巻き込む一体的な取組を創造する公民館活動～	講演 パネル ディスカッション	「魅力ある地域づくりを担う公民館の役割を創造する」 「持続可能をめざした地域づくりに向かう公民館活動の在り方」
第65回	令和2年 10月5日 ～ 10月30日	WEB動画配信	「持続可能な地域づくりに向けて 公民館が進む道」～「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などをどう具現化していくか～	パネル ディスカッション 座談会	「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などをどう具現化していくか
第66回	令和3年 11月8日 ～ 11月26日	WEB動画配信	「持続可能な地域づくりに向けた公民館活動の在り方」今こそ、地域を結ぶ新しい時代の公民館～温故知新～	分科会(8) 記念講演	※第72回九州地区公民館研究大会 福岡大会を兼ねる



2022年度 (2022年5月1日午後4時～2023年5月1日午後4時)

公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポート

1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

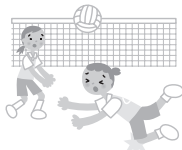
保険

- 公民館行事参加者のケガを補償
- 公民館利用者のケガを補償
- 行事往復途上のケガを補償
- 行事の事前練習や事前準備、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

見舞金制度

- 疾病や特定傷害に、疾病死亡弔慰金、疾病入院見舞金をお支払いします。
- 特定災害による損害に、特定災害見舞金をお支払いします。

【補償例】



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)】

保険

- 公民館の施設・設備等*の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合に補償

※ 公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

* 施設にある昇降機(エレベーター、エスカレーター)の所有、使用、管理に起因する賠償責任も含まれます。

【補償例】



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償

【普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約)+見舞金制度】

保険

- 公民館事業や業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

見舞金制度

- 公民館事業や業務に携わる方の病気や特定傷害、業務外のケガ、業務中の地震によるケガに死亡弔慰金や入院見舞金をお支払いします。

【補償例】



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

公民館総合補償制度の特長

(1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する『見舞金制度』に『保険』を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊を伴う行事も対象です。

(2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要です。うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

(3) 掛金の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償制度掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償の保険料には、団体割引25%、過去の損害率による割引10%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『2022年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

■引受保険会社
損害保険ジャパン株式会社
営業開発部第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-3820 FAX 03-6388-0157
(受付時間: 平日9:00～17:00)

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)
エコー総合補償サービス株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL: 0120-636-717 (通話料無料)
FAX: 0120-226-916 (通話料無料)

ホームページをリニューアルしました

いつも福岡県公民館連合会のホームページをご利用いただき、誠にありがとうございます。

令和2年11月から、ホームページを全面リニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、より分かりやすく使いやすいホームページを目指して、デザインやページの構成を見直しました。また、スマートフォンやタブレットでの表示にも対応し、幅広いデバイスから見やすいように改善いたしました。

これまで以上に有益な情報をお伝えできるホームページとなるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



Point ①

より見やすく！

- ・スマートフォンの画面にも対応しました。
- ・シンプルなカテゴリーですっきりと

Point ②

よりわかりやすく！

知る 参加する 読む調べる

- ・知りたい情報へダイレクトに

Point ③

より調べやすく！

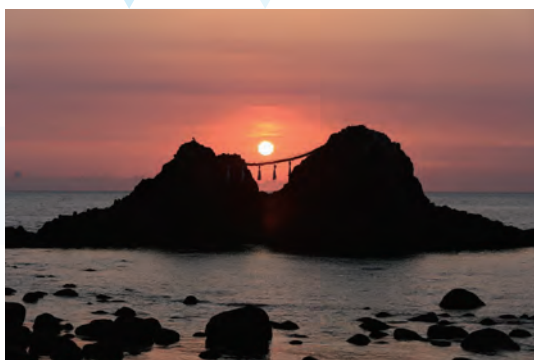
- ・豊富な実践事例の中からほしい情報を検索できるようになりました。

新しくなったホームページをぜひご覧ください！



福岡県公民館連合会

検索



桜井二見ヶ浦(日本の渚百選) 景勝地



糸島市民まつり 市民協働



糸島牡蠣 特産物